

「学校に行けない」とはどういうことか

～第2弾 保護者、教育関係者のQ&A講座～

令和3年11月6日(土) にクラーク記念国際高校福岡校3Fホールにおいて公益財団法人子ども教育支援財団主催の教育シンポジウムが行われました。前回(令和3年8月31日)は緊急事態宣言下でもあり、感染症対策のためZOOMで実施されました。今回も午前の部(10:00～12:00)、午後の部(14:00～16:00)の2回に分けて参加者を限定して実施されました。午前の部は5名、午後の部は20名で、中3生の御家族の方や教育関係者などが参加していました。どちらの部も前半は不登校経験がある通信制高校の生徒さんのインタビュー。後半は私、ぼちぼちの会会長木村が講師として「学校に行けない」とはどういうことか」をテーマに講演と意見交換をさせていただきました。

インタビューでは「公益財団法人子ども教育支援財団」の蓬莱先生が①通信制を卒業した現在専門学校在籍の男子生徒、②高3女子の通信制高校在籍生徒と対話形式で進めていかれました。

高校入学前から現在の学校生活。気持ちの変化や、学校に通いながら学校生活・日常生活の中で困っていたことや、辛かったこと。保護者や周囲の人との関係。そして、してほしいことや言ってほしかったことなど。自分の将来の進路についての希望や悩みなど、多岐にわたりました。最後に自分が頑張っていることや伝えたいことを話してくれました。



シンポジウム感想

○質問に答えていただけたら、保護者の生の声を聞けたり、とても内容の濃いセミナーに参加させていただき、感謝しております。ありがとうございました。

○自分が何に悩んでどう動けばいいのか、息子がどういう心理状態にいて、何に困っているのかが分かり、気持ちが軽くなりました。

○木村先生のお話は、本当におっしゃる通りだな…と思いました。不登校の子どもたちの話が出ると、うちの子の話を聞いているようで、胸が痛くなりました。（本人の気持ちが向くまでは）学校に行かなくてもいい！元気で好きなことしていい！と思って様子を見ているんですが、子どもには私の不安が伝わっているんでしょうね。子どもと不登校についてゆっくり話し合うことがなかったので、ちゃんと自分の気持ちを伝えてみようと思います。ただ日々が過ぎていくだけで、どうしたらいいのだろう…と思っていたのですが、そろそろ環境を変える時期なのかもしれませんね。大変勉強になりました。人的要因についてのお話も聴きたかったです。

○共感できる内容だったため

○学校に行けないことに理由はないと聞いてその通りだなと思いました。

○参考になった

○今回は先生や卒業生、参加の保護者様の話を直接聞けた事が良かったです。

○内容が大変参考になった。

○とてもわかりやすく、自分が悩んでることがすっきりした気持ちになりました。自分だけが悩んでいるのではないんだと、安心しました。

○不登校への理解と対応の仕方について具体的にお話しいただき大変勉強になりました。

○不登校の子供への接し方が具体的にわかった。

○木村先生のお話が、とても心に響きました。また、セミナーなど開催される際には、ぜひ参加させていただきたいと思います。

○体験を聞かせていただいて、本当にありがたかったです。息子が何を考えているのかのヒントをいただけたと思います。ありがとうございました。

○ありがとうございました。中学校の教員なので教え子がクランク高校にはよくお世話になっています。お世話になっていながら、伺ったことがないまま、色々な生徒に勧めていたのですが、今回、施設見学もできて勧めやすくなりました。

○また、参加させていただきます

○セミナーでは思わず気持ちが溢れてしまい、失礼を致しました。お忙しいのに、終わった後もお時間を取らせてしまい、すみませんでした。色々お話が出来てよかったです。メールにもあたたかいメッセージまで頂き嬉しかったです。ありがとうございました。

○今後もセミナーへのニーズは高まると考えます。内容に応じて参加したい。

○本日の教育セミナーを受講させていただき、今までの自分の子どもへの支援で間違っていなかったと安心できたところや、改善すべき点などを発見することができました。大変勉強になりました。また同じような機会がありましたら参加させていただきたいと思えます。ありがとうございました。

○質疑応答の時間が非常に学び深い時間でした。貴重な機会をありがとうございました。

○以前はなんとか学校に戻そうといろいろやっていたが、今は行かなくてもいいのかなと思うようになってきた。というか、本人が行く意志がないのにいくら親でも人は変えられないと諦めた。ただずっとこのままでは

良くない。自分の安心できる居場所をつくり、今は行かなくてもいい理由を説明し、今何ができるかをじっくり話しあうことが大事だと気づきました。日頃塾に行くと言い何度もドタキャンされて、休校にするか提案しても、いや行くといい結局行かない事がしょっちゅうで、イライラが先立ちじっくり話し合うことができていなかった。冷静に話し合えるようにしたいです。たくさんの気づきがありました。ありがとうございました。

「学校に行けない」とはどんな原因が
第2弾 保護者、教育関係者のQ&A講座

内閣府認定 東京大志学園 福岡校 主催 教育セミナー
対象：保護者、教育関係者
後援：福岡市教育委員会/不登校保護者の会「ぼちぼちの会」

「学校へ行けない」ことは高年なのでしょうか？8月に行われたセミナーでは、中学校時代に不登校を経験した高校生へのインタビューと専門家による解説で、いまの子どもたちとのわかり方を皆さんと考え、思いを共有しました。第2弾では、生徒の経験談と専門家の解説に加え、8月のセミナーで頂いた質問と、新たな疑問もあわせて皆さんと一緒に考察していきたいと思えます。

講師：木村 素也
不登校保護者の会「ぼちぼちの会」会長
元福岡市立中学校長
東京大志学園 顧問

内容：生徒インタビュー、講演、質疑応答
(感染拡大状況によってオンライン開催へ変更する可能性があります)

申し込み方法 11/4(木)申し込み締め切り
お電話 092-534-6225 (主催 東京大志学園 福岡校) ホームページ
メール 下記メールアドレスへ 件名に「シンポジウム参加希望」と明記
本文に参加希望の氏名と住所電話番号、質問などを記入ください
FAX 092-707-0994 下記にご記入後送信してください 東京大志学園福岡校 宛
QRコード

ふりがな	参加者様の属性(○をつけてください)	
お名前 (代表者)	保護者(お子様の学年:) / 教員	
参加人数	人	施設職員 / カウンセラー / その他()
ご住所	〒	教育関係者の場合: ご所属:
電話番号	()	〒
認知媒体 (QRコード)	学校からの紹介 / 教育支援機関からの紹介 / 東京大志学園からの案内 WEBサイトでお調べいただいた / その他()	
参加回数	初めて - 1回 - 2回以上	
参加時間帯	午前	午後
講師に聞きたい 事があればご記入 ください		

2021/11/6(土) 午前の部: 10:00~12:00
午後の部: 14:00~16:00
内容: 生徒インタビュー、講演、質疑応答 定員: 各部25名 ※同じ内容ですので、ご希望の真い方にご参加ください
・会場: 〒810-0014 福岡市中央区宇尾1丁目7-1 東京国際ビジネスカレッジ福岡校3階ホール
・費用: 1,000円/おひとりさま (ご家族でご参加の場合、ひと組)
・お問い合わせ: ☎092-534-6225 fukuoka_info@kodomo-zaidan.net